

◎「世界滅亡の日は10月に延期」、米伝道師が釈明

【AFP, 05/25/2011】 今月 21 日にキリスト教の「最後の審判が下る」と予言していた米国の伝道師が、問題の 1 日が平穩無事に過ぎたことについて、世界滅亡の日は予定よりも「もう少し遅れるようだ」と釈明した。

宗教放送局「ファミリー・ラジオ (Family Radio)」の局長ハロルド・キャンピング (Harold Camping) 氏 (89) は 23 日の放送で、「世界滅亡の日程は変わっていない。ただ、この問題についてわれわれがもう少し真摯になる必要があるということだ」と釈明。「だが、10月21日には必ずや、世界は終わる。5 か月もかからず、一瞬で世界は破滅するだろう」と力説した。

同氏は前週、2011 年 5 月 21 日の午後 6 時に「世界は大地震とともに滅亡する」と予言。神に選ばれた良きキリスト教徒のみが天に上げられる、キリスト教終末論の「携挙 (ラプチャー)」が起こり、その他の人びとは地上に残されて、世界が破滅する 10 月 21 日まで苦しみを味わうと主張した。しかし問題の 21 日、世界はおおむね普段と変わらない 1 日だった。

予言が外れたことについてキャンピング氏は先に、米 CNN テレビに対し、困惑したと認めていた。

ただし、キャンピング氏が「世界滅亡の日」を算出する計算を間違えたことは、今回が初めてではない。今から 20 年ほど以前にも同氏は著書『1994』の中で、「1994 年に世界は終わる」と予言していた。

一方、米インターネットショップでは「どうにか生き延びたけど、手にしたのは、このショボい T シャツだけさ」とプリントされた T シャツなどが売れているという。

【キーワード】

最後の審判、終末論

イスラームの誕生と発展



現代世界のイスラーム

- 13-15億人
- 90パーセントがスンナ派、10パーセントがシーア派

エマーム・ホメイニー霊廟
(イラン)



イスラーム以前

- ジャーヒリーヤ（無知の時代）と呼ばれる。
- アニミズム信仰、多神教が主流（ユダヤ教徒、キリスト教も住んでいた）。
- カーバ神殿（マッカ）はすでに聖地巡礼の中心地であった。

預言者ムハンマド（570頃～632）

- 40歳の頃、啓示を受ける。
- 622年、マッカからマディーナに移住（ヒジュラ）。
- ヒジュラ歴（イスラーム暦）の始まり。太陰暦、一年は約354日。
- 2011年はヒジュラ歴1432年。
- 630年、マッカ征服



イスラーム以降

- 女神崇拜（多神教）の否定
- 偶像崇拜の禁止
- 血縁関係を越えたウンマ（共同体）の形成
 - 「血の復讐」の否定
- イエスに対する理解
 - 「神の子」ではなく神の使者としての「メシア」。
 - 三位一体論の否定。
 - 十字架上で死んでいない。普通に死んで昇天し、世の終わりに再臨。

ジハード

「お前たちに戦いを挑む者があれば、神の道のために戦いなさい。だがむやみに敵対してはならない。神は好戦的な者は愛さない。しかし戦いになれば、出会った敵は殺しなさい。」

「クルアーン」 2:190-191

ムスリム軍に包囲された際の 異教徒の対応

1. イスラームに改宗する。
2. 自分の信仰を保持し、人頭税を支払う。
3. 戦う。

ムスリムとは

- 「アッラー（アッラーフ）以外に神はなく、ムハンマドは神の使徒であることを私は証言します。」
- 六信五行
 - 六信：（1）神、（2）天使、（3）啓典、（4）預言者、（5）来世、（6）予定
 - 五行：（1）信仰告白、（2）礼拝、（3）喜捨、（4）断食、（5）マッカ巡礼

シャリーア（イスラーム法）

- 宗教儀礼（食生活、礼拝、断食など）、結婚・離婚、葬儀、遺産相続、裁判、戦争など生活の全般にわたる指針を示す。
- 法学派によって、解釈上の違いがある。

スンナ派とシーア派

- スンナ派（スンニ派）
 - 預言者ムハンマドの打ち立てた慣行・規範（スンナ）を重視する人々がスンナ派。スンニ派はムハンマドやカリフ（後継指導者）を人間と見なし、共同体（ウンマ）の合意を重視する。
- シーア派
 - 預言者ムハンマドの血統を重視し、いとこのアリー（第4代カリフ、在位656-661）を指導者に仰いだのがシーア派。シーア派は指導者を絶対的な判断を下すイマームと呼び、神格化している。イラン、イラクが中心。

サラフ（父祖）時代への回帰

- 18世紀、アラビア半島で、イブン・アブド・アルワッハーブによる改革運動
- 聖者崇拜や神秘主義を厳しく批判する。イスラームの純化を求める。
- サウード家（→紋章）の保護を受ける。
- 1932年、サウジアラビア王国の成立。ワッハーブ派イスラームを国教とする。



イスラーム主義の台頭

- 1929年、ムスリム同胞団（エジプト）
- 1979年、イラン・イスラーム革命
- 1987年、ハマス（パレスチナ）
- 1994年、タリバーン（アフガニスタン）
- 2002年、公正発展党による政権奪取（トルコ）
- 2011年、サラフィー主義者の影響力増大？（エジプト）